

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

統括センター化・兼務発令の撤回を

兼務化・融合化・強制配転に反対！



千葉運転区前

乗務員を追い詰める業務融合化

JR千葉支社は7月1日、銚子・鴨川運輸区の廃止・統括センター化と、千葉・習志野・蘇我・佐倉運輸区の乗務員に対する(営業)統括センターとの兼務発令を強行しました。

この間、深澤社長は「鉄道部門4千人削減」「非鉄道部門へ再配置」「転籍・副業の促進」を公言してきました。

その中で、職名廃止やジョブローテーション、業務融合化・統括センター化、運転士・車掌の込み運用、ワンマン運転の拡大とローカル線廃線化などが進められてきました

【交番板中に駅業務が入ってくる】【行路内の「その他時間」で駅業務や企画業務をやらされる】【泊まりの乗務明けで営業関係の会議に参加】——そして、ジョブローテーションによる相次ぐ強制配転…

運転士からは「車掌業務も駅業務も企画業務もやらされ頭が変になりそうだ」という声が上がりがり、乗務員から駅業務への強制配転を命じられたことで休職に追い込まれた労働者が何人も出ています。乗務員を追い詰める攻撃を許すことはできません。

職場に当たり前の労働組合を

会社は、「鉄道ありきで考えるな」「これから価値創造だ」などと言っています。

しかし、鉄道の安全を守る各系統の専門的な技術・経験、現場労働者をないがしろにしていけば、鉄道の安全も技術継承も崩壊してしまいます

ちゃんと声をあげる労働組合を職場につくることです。団結した労働者の力は決して小さくはありません。

統括センター化・兼務化、「その他時間」撤回の声をあげよう。動労千葉に加入して、ともに闘おう。